

J I A NAGANO- KEN CLUB

vol.92
2012
2.7

JIA 長野県クラブ

(社)日本建築家協会 関東甲信越支部 長野地域会

<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>
jia-naga@jeans.ocn.ne.jp



冬のセミナー



幹事会



まち並みウォーキング 平沢宿

年度末に近づき思うこと

丸山幸弘

新年を迎え新たな一年が始まりました。毎年、年度末になると「今年も何とかぎりぎりですら暮らせたなあ〜。」と感じる。来年度はどんな年になるのか?不安の中で慌ただしく年度の締めに入る。昨年は締めようと思っているところにあのとんでもないニュースが入って来て天地がひっくり返った。今ではこれ以上とんでもない事が起きないよう願うだけである。社会は景気の悪い時期に突然の天災と人災、まさに泣きっ面に蜂の状況である。「何とかしなければ!」と全ての方がもがいている。景気が回復すれば幸せかという問題ではないと思うのですが日々の日常生活では迫る状況である。皆さんも「地方が元気にならなければいけない。」と思っている方が多いのではないかと思います。過疎、過疎と言われ人口減少に伴い元気も失われる地域が増える中で、何とか自立し活力を蓄える地域になって欲しい。「自立」と言う事は並たいていの事でない。行動すればするほど難問が押し掛かる。私が今、取り組んでいる問題は二つ「山村の小さな部落が如何に過疎を食い止め、部落に若者を戻す取り組みができるか。」という問題と「伊那谷の林業、建築業の活性化を如何に進めるか。」という問題に夢中です。勿論、一人では不可能で仲間の協力を得て活動するのですが難問が次から次に噴出して足踏み状態です。「少しずつ改善していこう。」と言ってくれる方もいますが状況は今何とかしないと将来とんでもない事になってしまうと焦る。私達建築家は地域にどのような形で貢献できているのであろうかと日々模索している。

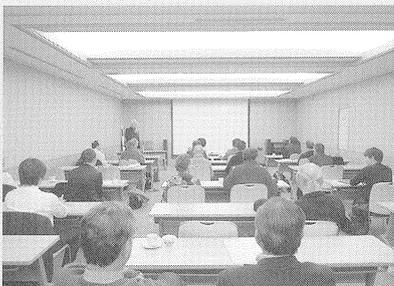
2014年JIAでは保存問題長野県大会を予定している。昨年は栃木大会の前日、天地がひっくりかえって中止になったので今年改めて栃木県で開催される。あの災害を経験して保存という問題の大切さや難問を冷静に捕える機会となるであろう。そして長野大会では「将来に向けて、保存する意味、そのための私たち建築家の役割など」指針など示し、行動しないと社会に認められないのではないかと思います。

都会では今もスクラップ&ビルドの傾向が未だに蔓延している。経済効果最優先の社会を目指し都市がつくられている。本当にそれで良いのか過去に執着しタイムスリップする必要はないが過去の良い点を見つめ直し、将来に反映する仕組みを考えた方が良いのではないかとつくづく思う。勿論、都会ばかりでなく長野県もその傾向が見られる街がある。特に公共建築を中心とした公益性の高い建築物は歴史的背景を残し時代に合った建築であって欲しい。時代に合った建築とは耐震性や一時的な流行に合わせると言うことではない。公共建築物の耐用年数が償却したので建て替えを考える。などとナンセンスな話を持ち出す行政関係者は少ない。「市民の安全性を考えて、地域建設業界への貢献」と言う。これはこじ付けで役人の決まり文句である。市民の税金の使い道をもっと冷静に考えて欲しい。そこに私達建築家が何を投じる事ができるか?社会は見ています。皆さんがんばろう!

冬のセミナー

12月3日(土) 安曇野蝶ヶ岳温泉 四季の郷「ほりでーゆ〜」にて恒例の冬のセミナーが開かれました。午前中、幹事会が開かれ、午後の前半は「信州の建築家とつくる家 vol.8」出版レビュー。掲載された作品を各自発表しました。後

半は賛助会技術交流会が開かれました。今回は防水をテーマに(株)ダイフレックス、田島ルーフィング(株)の2社の最新技術の紹介を行いました。



「信州の建築家とつくる家 第8集」出版レビューを振り返って

吉田 満

毎年恒例となりつつある冬の行事での「信州の建築家とつくる家 第8集」出版レビューが行われました。私自身も第5集から掲載させて頂いていますが、出版レビューについても毎回楽しみに参加しています。

住宅などのプライベートな建築の場合、なかなか空間を体験する機会は少なく、このような発表の場があることは大変貴重だと感じています。

設計者がどのようなコンセプトや考えで設計したのか、周辺環境との関係性、クライアントの考えや関わり合いなど、いろいろな要素がこのレビューには詰まっています。4ページではという限られたスペースで表現できなかったこと、裏話や設計業に取り組む姿勢など建築に対する熱い思いを活きた声で聞けることも

大変勉強になります。

勿論、聞き手も真剣になります。時には考え方の相違などでぶつかりあったりもしますが、いろいろな意見や質問を交えながら、世代や立場を超えて本音で語り合えることは、他ではあまり見られない素晴らしいことです。

私自身もこのような発表の機会は少なく、限られた時間で巧く説明することが出来ませんが、貴重なご意見やご質問を頂いたりすることは本当に有難く、改めて考え直す機会でもあり、自身のレベルアップにも繋がって行くと思います。

なかなか全員の出席は難しいと思いますが、一人でも多くの方が参加して頂き、もっと出版レビューが盛り上がっていくことを期待したいと思います。

冬のセミナー技術交流会に参加して

丸山 和男

今回の賛助会員技術交流会は、防水について株式会社ダイフレックスさんと、田島ルーフィング株式会社さんより、最新の技術について説明していただいた。普段、木造の住宅を中心に設計している私だが、防水の進歩は目覚しく、大変勉強になりました。

防水という本来の目的を満たす性能や信頼性はもちろんのこと、遮音性、遮熱性と省エネルギーにも対応していることに、技術の進歩を感じた。防水が施さ

れる屋根における遮熱性能の向上は、省エネルギーの観点から大変有効なことだと思いました。

また、ダイフレックスの外壁タイル剥落防止工法エバーガードは、既存建物のタイル仕上げの剥落防止と美観維持を追求した工法で、これからの建築需要に対応した求められる技術だと思う。私にとって今すぐに役立つわけではないが、こうした技術を学ぶことは有意義なことだ、いつか必ず役に立つ日が来る。

UIA2011 東京大会準備特別委員会拡大反省会と奈良井セミナー 奈良井宿 御宿伊勢屋に泊まる会に参加して

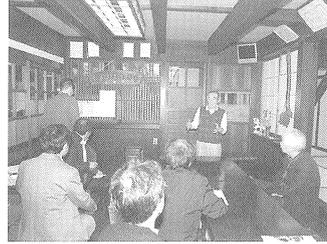
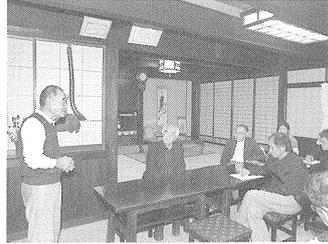
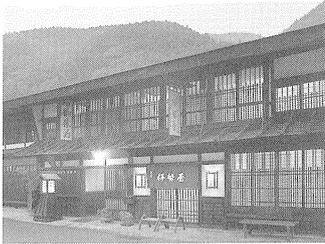
新井 優

10月14日(金)に奈良井宿の御宿伊勢屋で、UIA大会反省会と奈良井セミナー。翌日15日(土)には木曾平沢のまち並みウォッチングが行われ、御宿伊勢屋には21名が宿泊し、熱く建築(愛?)を語り合いました。

UIA大会中の長野エクスカッションが震災の影響もあって中止となり、宿泊先でもあった伊勢屋さんに恩返する意味も込めた今回のセミナー。まず伊勢屋御当主を講師に迎えて、文政元年(江戸時代後期)に建てられ、200年の時を刻んでいる母屋のお話や、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されたまち並みを地域の人々が守り育ててきた話をお聞きした。きちんとした保存運動が続いているまち並みには必ず牽引役のキーパーソンがどっしりと構えている。今後はこのまち並みを次の世代に引き継いで行く事が課題であるようだ。

薄暮に千本格子から柔らかい光がこもれ出す頃には夕食会が始まり、すぐに幻想的な雰囲気は打って変わり、量にあぐらの差しつ差されつの大盛り上がりで深夜まで宴会が続く。特に「UIA大会に参加して得たもの」をテーマにした意見発表会では、一人ひとりが多くの影響をこの大会で得たことを告白。関東甲信越支部UIA大会支部推進委員長として頑張った赤羽会長大変ご苦労様でした!

15日は丸山副会長の案内で日義地区のツリーハウス見学と漆器で有名な平沢のまち並みをウォッチング。二日間に渡り木曾の豊かな森に抱かれたセミナーは明日の活力を十二分に充電できた良い機会となりました。



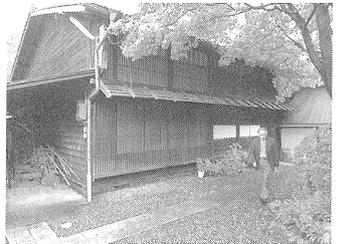
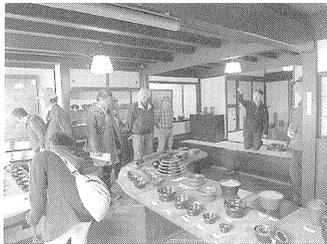
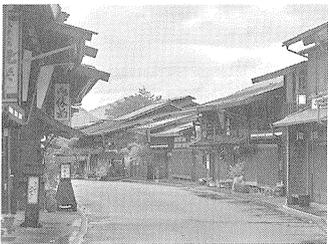
まち並みウォッチングに参加して

倉田 政人

今年度2回目のまち並みウォッチングは10月15日(土)に平沢宿にて行われました。前日は、UIA2011東京大会の反省会が、木曾奈良井宿「伊勢屋」で行われ、その中で伊勢屋のご主人・酒井様に講師をお願いし、中山道・東海道裏街道34番目の宿場街・奈良井宿の歴史・文化等についても伺うことが出来ました。

当日平沢に向かう前に、館設計工房の丸山さんが主宰する勉強会で手掛けられた、木曾の日義にある「わんぱく村・秘密基地!?!」を見学しました。木材の地産地消をテーマに立木の伐採から製材・加工そして建物の建築までを行い完成した、地産地消モデルハウスと秘密基地のシンボル・ツリーハウス2棟を案内していただきました。どれも手が込んでいて遊び心が伺え、携わった方々が楽しまれながら建てられた様子が伺えました。

ご存じの方も多いと思いますが、平沢は、奈良井宿の隣にあり、全国的にも数少ない漆器生産の町であり、特徴ある町並みで伝統的町屋や塗藏など多数現存していることから平成18年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。地元の方に建物の特徴等について説明していただき平沢地区のまち並みについて学びました。漆器工房では日本の伝統工芸である職人の技に触れ、日本の伝統的な塗装の技術に感動しました。木曾の気候風土がこの塗装技術を支えていたことや木曾街道が流通の大きな役割を担っていたことを学びました。今のウレタン系の塗装と違って、本当にしっとりとした輝きや呼吸をして木にやさしい感じを受けました。機会があれば建築の中で漆塗りをやってみたいと思いました。



「信州の建築家とつくる家 第8集」を発売して

清水 国寿

昨年に引き続き今年も「信州の建築家とつくる家」第8集を無事発刊することができました。関係者の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

今回は新たな試みとして、建築家プロフィールの全顔写真の撮影を写真家・和田平庄さん(有限会社写楽)にお願いしました。顔写真のクオリティーを向上させることが出版物全体のクオリティーアップにつながるという、坂田賛助会長の助言によるものです。今までは統一感の無かった顔写真ですが、今回はプロカメラマンの手により、統一感がありながら各建築家の個性を的確に写し出したものとなっています。和田さんには大変なご苦労をおかけしましたが、当初の目的はかなえられたと思っています。ありがとうございました。

また、昨年は3・11の歴史的な大災害があり、ここ信州でも栄村や松本市の地震と自然災害が頻発しました。それに加え人類史上最悪でまだ終息しない原発事故。これらの事は日本人の心に深く刻まれ、物事の根本を問い直す機会となっています。われわれ建築家も昨年の出来事を深く胸に刻み、ものづくり

に携わる者として建築の原点を問い直さなければいけません。一人ひとりがそれぞれの「拠りどころ」を求めて、創作活動を深化させていくことを願っています。



賛助会だより

こだわりを形に…

システムキッチン、オーダーキッチン、オーダー家具の設計・施工をメインに営業させていただいております。自分の個性やライフスタイルに合わせた世界で一つアナタだけのキッチン・家具作りのお手伝い

をさせていただきます。

形、色、高さ、素材など様々な仕様に对应させていただいておりますのでお気軽にお問合せ下さい。

〒390-0826 松本市出川町7-8 TEL 0263-27-0855

株式会社 タクト 青柳 岳史

防水は田島です。

田島ルーフィング株式会社は、1919年(大正8年)6月に創立し、風雪による雨漏りから建物を守ることを使命とし、90年にわたり防水材料を提供し続けております。

田島ルーフィング株式会社 村社 拓哉

材・工法・納まりの選定によって、建物を漏水から確実に防ぎ、さまざまな要望にお応えします。

屋上に潤いを与える屋上緑化でも、総合防水メーカーの視点から、耐風圧性・耐根性・保水性・排水性・通気性に優れた安心な緑化システムをご提案できます。

埼玉県さいたま市大宮区土手町1-49-8 GM大宮ビル5F TEL 048-641-5590

総合防水メーカーとして、アスファルト防水・シート防水・ウレタン塗膜防水・シングル防水・断熱材・アルミ金物・屋根葺材等の幅広い品揃えを誇り、新築工事・改修工事を問わず、適材適所の防水

電力需給状況のお知らせ

「浜岡原子力発電所全号停止」による昨夏の厳しい電力状況を乗り越えることができたのは、節電や操業調整等、お客さまの痛みを伴うご協力によるものであります。ご協力をいただいたお客さまには改めて深く感謝申し上げます。

今冬の電気をお届けするにあたり支障をきたす状況ではありませんが、例年に比べ運転できる発電機が減少しております。ご不便を

中部電力(株)長野支店 藤沢 浩史

おかけしますが無理のない範囲で引き続き、節電にご協力をお願いします。

なお浜岡原子力発電所については、地震・津波に対する安全性をより一層高めるため、地下構造調査や中央防災会議の検討等における新たな知見に対して、適切に必要な対策を講じてまいります。皆さまにご安心いただけるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

〒380-0805 長野市柳町18番地 TEL 026-232-9005

日本の四季を活かした庭造り

弊社は昭和28年に創業し、昭和58年に株式会社となり、公共工事、街路樹管理、公園造成、メンテナンス庭園設計施工、エクステリア全般を手掛けてきました。

ホテル、保養所、研修施設、官公庁施設、レジャースポーツ施設、ショッピングセンター、住宅施設等の幅広い分野において、多数の施工実績があります。これらの経験を生かし、提案から施工までお引き受けいたしています。近年は生活環境の変化に伴い、利用者の快

株式会社 塚田造園 塚田 牧子

適性と利便性を考慮した工事を行っています。和風庭園の竹垣から洋風のフェンスやインターロッキング等各種メーカー取り揃えています。季節を楽しみ、心安らぐ生活のひとつを過ごして頂ける庭園造りを従業員一同、心に留めて対応させて頂いています。

お庭、エクステリア等に関する些細なことでもお気軽にご相談下さい。

〒381-0051 長野市若槻団地1番地471 TEL 026-241-2240 FAX 026-243-4632

「あけてごらんナブコのドアに～」自動ドアの長野ナブコです。

1968年に創業した長野ナブコは、自動ドアのパイオニアブランドであるNABCOの代理店として、自動ドアの販売・施工・保守サービスを業としてまいりました。

現在、自動ドアは人々が快適に働き、快適に暮らす、そんな街づくりに欠かせない存在として景観に溶け込み、進化を続けています。

株式会社長野ナブコ 井出 透

建物の顔として大切な役割を持つエントランスには、安全でスムーズな通行感と機能的で調和のとれたデザインの自動ドアが欠かせません。私達長野ナブコは、地域最大数の自動ドア施工技能士を保有し、これからも皆様のエントランスを快適、安全にお使いいただける様、施工、アフターサービスを提供してまいります。

〒381-2246 長野市丹波島1丁目805 TEL 026-284-3211 FAX 026-284-1444

今後の行事予定

2月25日(土) …くらしの空間セミナー「近作について」西沢立衛
松本市美術館 14:00~

3月10日(土)~11日(日) 建築祭 松本市美術館
10日(土) ・第20回文化講演会
「造る喜び、住む楽しさ」香山壽夫
15:00~17:30

11日(日) ・第21回長野県学生設計コンクール公開審査
9:15~16:30
・第6回 長野県クラブ建築作品展
9:30~17:00

お知らせ

受賞・表彰おめでとうございます。

☆2011年度「日本建築家協会優秀建築選100選」

「五角筒の家」甘利享一さん 甘利享一建築設計舎

「山形村の民家再生」川上恵一さん (有)かわかみ建築設計室

☆ 第24回 長野市景観賞

「上高田保育園」安藤政英さん 安藤建築設計工房

☆ 平成23年度「松本市景観賞」【建築物・工作物部門賞】

「午後の喫茶くるみ」川上恵一さん (有)かわかみ建築設計室

「安藤法律事務所(看板)(建物:奨励賞) 藤松幹雄さん 藤松建築設計室

☆ 平成23年度 職業能力開発関係厚生労働大臣表彰

技能検定関係 功労者 坂田守夫 賛助会長

編集後記

財務省が25日発表した2011年の貿易統計で、日本の貿易収支が2兆4927億円の輸入超過となり、31年ぶりの赤字に転落したことが明らかになった。東日本大震災やタイの大洪水で製造業のサプライチェーンが寸断されてしまったという供給面の制約に加え、欧州の政府債務危機、さらには新興国の景気減速によって、需要面の悪影響が重なった。リーマンショックがそうであったように、世界的な経済の影響が地域経済に大きな波が時間とともにやってくる。今から様々なアンテナをはって備えていかなければならない気がする。…………… 勝山 敏雄

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集人/勝山敏雄 発行所/JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内 TEL: 026-232-3897 FAX: 026-232-5303

発行人/赤羽吉人

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>

E-mail jia-naga@jeans.ocn.ne.jp



J I A
社団法人日本建築家協会
The Japan Institute of Architects